



地域美術館との連携によるワークショップ プログラム構築に向けた実践的研究

ー福山市立大学教育学部とふくやま美術館の連携活動を手がかりとしてー



研究代表者 福山市立大学教育学部 渋谷 清

研究協力者 ふくやま美術館 筒井 彩
ふくやま美術館 田窪 薫



背景

・ 美術館は社会教育施設

展覧会の開催のみならず、より多くの人々が広く美術に親しみや関心を持ち、その機能を十分に活用してもらうよう、様々な教育普及活動を行う社会教育施設でもある。

・ 教育普及活動の重要性

都道府県や市区町村が運営する各地域の美術館では、特にこの教育普及活動に力を入れている館が近年増加して来ている。

・ ワークショップの増加

美術館の教育普及活動のひとつに、展覧会観覧のみならず観覧者自身が参加する「ワークショップ」がある。

研究の 目的と 方法

- 本研究では、まず地域美術館と大学教育が連携したワークショッププログラムの先行事例における現状と課題を踏まえつつ、2025年度に実施された2つのワークショップを対象に、参加観察・企画・試行・実施への反映を試みた。2つの実践研究の活動機会から、**大学と美術館双方にとって効果的なワークショッププログラムの構築に向け、有効な連携方法と課題の抽出**を行った。

実践①

- **特別展『アートとあそぼうブルーノ・ムナーリ展』**

会期：7月12日(土)～9月15日(月)の関連ワークショップとして小学生以上を対象に、会期中の火曜から金曜の10:00～15:00に随時造形ワークショップが実施され実践協力と参加観察を行った。

- **随時型ワークショップ**

コラージュやフロッタージュなどのモダンテクニック中心に美術館1Fエントランスロビーにて実施。美術館ボランティアスタッフ中心に運営。

- **参加観察**

日本ブルーノ・ムナーリ協会の事前研修会に参加。担当授業内で展覧会リーフレットを配布し、展覧会内容とワークショップの概要について紹介をした。3、4年生のゼミ生とは学外授業にて観覧とワークショップ観察を行った。

アートであそぼう

ブルーノ・ムナリー展

2025
7.12 SAT - 9.15 MON

休 日：月曜日（7月21日（月・祝）、8月11日（月・祝）、9月15日（月・祝）は開館。7月22日（火）は休館
開館時間：9:30～17:00（※6月9日（土）、10日（日）は19:00まで開館）
会 場：ふくやま美術館（広島県福山市西町二丁目4番3号）
観 覧 料：一般1,500円（1,200円）：高校生以下無料 ※（ ）内は前売のまたは有観 20名以上の団体料金
※販売中は、ふくやま美術館総合案内、JR 福山駅前北島内所、ローソンチケット（E2）にて、7月11日（金）まで販売。
※販売終了後は、各所ではふくやま美術館ホームページにて販売。またはふくやま美術館（084-932-2345）にお問い合せください。
主催：（公財）ふくやま芸術文化財団、ふくやま美術館、福山市
協力：日本ブルーノ・ムナリー研究会、NPO 法人市民の芸術活動推進委員会
後援：イケア文化会館、大塚、星城大学、福山市立大学、福山大学、福山市教育委員会

かたちがある せんがつながる いろがまざり くるく、ふわふわ、むらむら。

ブルーノ・ムナリーのアートには、こどもの「気づく力」と「想像する力」を育てるヒントがみついています。
ムナリーが大切にしたのは、自由な発想と「あそび」の力。
見て、さわって、感じて、大人も子どもと楽しくあそび心をむらむら。
この夏、五感を活かして、ひらめきと発見がまったムナリーの世界をのぞいてみませんか？

日本ブルーノ・ムナリー研究会代表による記念講演会

「どうしたら天才になれるの？」「美術が苦手なだけ……」
みなさんの相談に、これまで色々なプログラムを行ってきた
ムナリー研究会代表がエッセイをお話します。
日時：7月12日（土）14:00～
講師：若崎清（日本ブルーノ・ムナリー研究会代表）
会場：ふくやま美術館 1階ホール
定員：100名
※聴講無料

アートのお楽しみ展覧会

「60歳のジジ」
1950/1999、2007年
日本ブルーノ・ムナリー研究会★

ギャラリートーク

日時：7月12日（土）10:30～
講師：若崎清（日本ブルーノ・ムナリー研究会代表）
会場：ふくやま美術館 1階企画展示室
※特別観覧券をご持参ください。

体験型ワークショップ

ポテンシャルを最大限に、ワークショップを実施します。
見て、さわって、実際に作ってみよう！
日時：平日 10:00～15:00
会場：ふくやま美術館 1階エントランスロビー
※特別観覧券をご持参ください。

①ワークショップ「直接の映写」・事前応募

35mmのフィルム、セロハンなどいろいろなものを、好みに応じて配置し
プロジェクターで映写して楽しむ
日時：8月16日（土）①10:30～11:30 ②14:00～15:00
講師：日本ブルーノ・ムナリー研究会
会場：ふくやま美術館 1階ホール
参加費：無料
対象：小学3年～6年生
定員：各回20名
応募締切：8月8日（金）必着

②ファミリー・アート教室「カタチを組む／ヒカリをあそぶ」・事前応募

愛媛大学で生まれた知育バスケットテーブル、身近なものを使い、古紙に貼れりあそびを
考えながら楽しむ！
日時：7月20日（日）①10:00～11:30 ②13:30～15:00
講師：深田昭三（元愛媛大学教育学部教授・元愛媛大学附属幼稚園長）
会場：ふくやま美術館 1階ホール
参加費：1組2名、2,000円 対象：3歳以上の子どもとその保護者
定員：各回15組
募集締切：7月5日（土）必着

応募方法：

往復ハガキまたは当館 HP 申込フォーム（①7月1日（火）、②6月10日（火）応募開始）に「参加希望するプログラム名」
「郵便番号・住所」「電話番号」「参加者名（保護者・子ども）」「子どもの年齢・学年」「メールアドレス」「希望の時間帯」を
記入し1通につき1組、ご応募ください。1グループのプログラムも応募多数の場合は抽選です。
応募先：〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号
ふくやま美術館「ブルーノ・ムナリー展ワークショップ」係

応募方法：

往復ハガキまたは当館 HP 申込フォーム（①7月1日（火）、②6月10日（火）応募開始）に「参加希望するプログラム名」
「郵便番号・住所」「電話番号」「参加者名（保護者・子ども）」「子どもの年齢・学年」「メールアドレス」「希望の時間帯」を
記入し1通につき1組、ご応募ください。1グループのプログラムも応募多数の場合は抽選です。
応募先：〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号
ふくやま美術館「ブルーノ・ムナリー展ワークショップ」係

この他にもイベントもたくさん！

詳細はこちらをご覧ください。
QRコード

夏季所蔵展「ブルーノの世界」9月23日（火・祝）まで開催中

全道巡回

○ JR 福山駅前北島（北口）から西へ400m
○ 山崎自動車道 福山東インターから西へ20分 駐車場65台 ※特別観 所蔵展を観覧？1時間無料
※観覧料（自由）
〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4番3号 Tel. 084-932-2345 Fax. 084-932-2347
X/Instagram: @fukuyama_bi
★©Bruno Munari. All rights reserved to Maurizio Corraini s.r.l.

観覧券特設サイト



実践②

・ 特別展『生誕140年 藤田嗣治 7つの情熱』

国内外から集められた約160点の作品の内、フランスを中心とする海外の個人コレクション多くが日本初公開であり、多くの観覧者があった。

会期：2026年1月24日(土)～3月29日(日)

・ 講座企画・講師担当

関連ワークショップとして小学生以上を対象に、「フジタ画伯に挑戦！」のテーマでワークショップの講座内容企画および講師を担当した(2026年2月28日実施)。

・ 体験型活動

参加者全員で藤田の作品鑑賞後、藤田の描く極細の線と同じような手法を用いて、画中に度々登場する「猫」をモチーフとして「フジタ画伯」に迫る描画体験をした。

7つの情熱

生誕140周年
Les 7 Passions de Foujita



Lui-même
Le Ciel
L'Avant-garde
L'Est et l'Ouest
La Femme
Les Enfants
Les Anges et Le Paradis

2026.1.24sat — 3.2

【休館日】月曜日 ※ただし2月23日(月・祝)は開館、2月24日(火)は休館
【開館時間】9:30～17:00
【会 場】ふくやま美術館 1階企画展示室、2階常設展示室第3室(広島県福山市西町二丁目)
【観 覧 料】一般1,500円(1,200円) 高校生以下無料 ※()内は前売りまたは有料20名以上
※前売券は、ふくやま美術館ホームページ、広島県福山市教育委員会、フジタ美術館、前売り券販売所の詳細、観覧料の減免、割引はふくやま美術館ホームページで確認。またはふくやま美術館
【主 催】(主)ふくやま県立美術館、ふくやま美術館、福山市
【後 援】(主)フジタ美術館、フジタ美術館、フジタ美術館、フジタ美術館
【協 力】日本航空
【企画協力】株式会社プレントラスト
Commissariat général: Sylvie Buisson, historienne d'art et expert de Léonard Foujita

藤 田

自己表現 lui-même



藤田嗣治(レオナルド・フジタ、1886-1968)は、西洋と東洋、それぞれから受けた影響を組み合わせ、独自のスタイルを確立した画家です。本展では、フランスの藤田研究の第一人者であるシルヴィー・ビュイッソン氏監修のもと、画家が生産を通して情熱を注いだ「自己表現」、「風景」、「前衛」、「東方と西方」、「女性」、「子ども」、「天国と天使」という7つの切り口で藤田の芸術を読み解きます。国内外から集められた油彩、版画、水彩、素描、資料など、あわせて約160点の作品をお楽しみください。フランスを中心とする海外の個人コレクションの多くが日本初公開となります。



東方と西方
l'est et l'ouest



la femme

《横たわる女性、水槽と猫たち》1927年 油彩・カンヴァス 個人蔵
藤田嗣治作品は©Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 G4036

子ども造形教室「フジタ画伯に挑戦！」

藤田の作品に触れながら、実際に藤田の描く極細の線と同じような手法で猫を描いて形を作りあげ、より藤田に迫る体験をします。

日 時：2月28日(土) ①10:00～11:30 ②13:30～15:00

講 師：渋谷清(画家/福山市立大学 教育学部教授)

会 場：ふくやま美術館 2階工芸版画室

受講料：2,000円

対 象：小学生 ※保護者同伴可能

定 員：各回12名 ※応募者多数の場合抽選

応募方法：往復ハガキまたは当館HP申込フォーム(1/2(金)から受付開始)に「郵便番号・住所」「電話番号」「名前(保護者と子ども)」「こどもの年齢・学年」「メールアドレス」「希望の時間帯」を記入し、ご応募ください。 ※1通につき1名

応募先：〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号
ふくやま美術館「子ども造形教室」係

応募締切：2月14日(土) 必着



申込フォーム
(1/2(金)～)

【休館日】月曜日 ※ただし2月23日(月・祝)は開館、2月24日(火)は休館
【開館時間】9:30～17:00
【会 場】ふくやま美術館 1階企画展示室、2階常設展示室第3室(広島県福山市西町二丁目)
【観 覧 料】一般1,500円(1,200円) 高校生以下無料 ※()内は前売りまたは有料20名以上
※前売券は、ふくやま美術館ホームページ、広島県福山市教育委員会、フジタ美術館、前売り券販売所の詳細、観覧料の減免、割引はふくやま美術館ホームページで確認。またはふくやま美術館
【主 催】(主)ふくやま県立美術館、ふくやま美術館、福山市
【後 援】(主)フジタ美術館、フジタ美術館、フジタ美術館、フジタ美術館
【協 力】日本航空
【企画協力】株式会社プレントラスト
Commissariat général: Sylvie Buisson, historienne d'art et expert de Léonard Foujita

【休館日】月曜日 ※ただし2月23日(月・祝)は開館、2月24日(火)は休館
【開館時間】9:30～17:00
【会 場】ふくやま美術館 1階企画展示室、2階常設展示室第3室(広島県福山市西町二丁目)
【観 覧 料】一般1,500円(1,200円) 高校生以下無料 ※()内は前売りまたは有料20名以上
※前売券は、ふくやま美術館ホームページ、広島県福山市教育委員会、フジタ美術館、前売り券販売所の詳細、観覧料の減免、割引はふくやま美術館ホームページで確認。またはふくやま美術館
【主 催】(主)ふくやま県立美術館、ふくやま美術館、福山市
【後 援】(主)フジタ美術館、フジタ美術館、フジタ美術館、フジタ美術館
【協 力】日本航空
【企画協力】株式会社プレントラスト
Commissariat général: Sylvie Buisson, historienne d'art et expert de Léonard Foujita



成果

- 学生の学び向上
- 子ども参加促進
- 教育効果の確認

連携の ポイント

- ・事前情報共有

⇒可能な限り事前に情報共有を進める
(大学・美術館)

- ・セカンドスクール化

⇒学生にとってセカンドスクールとなる
ような仕組み (大学)

- ・対面交流機会

⇒対面的交流の準備機会 (大学・美術館)



FUKUYAMA MUSEUM OF ART
ふくやま美術館 2026年度特別展「オバケ?展」特設サイト

展覧会概要 展示作品 関連イベント お知らせ



ワークショップ

「ゆらゆらオバケと、ただいま！」(事前応募)

身近なものを用いて、おうちでゆらゆら吊るせるオバケをつくります。

どんなオバケといっしょに帰ろうか、家族に加えるならどんなオバケがいいか、相談しながらあれ・・・？もしかして、こわくないオバケもいるのかも・・・？

オバケといっしょに元気よく「ただいま！」を言ってみよう。

協力：福山市立大学、福山市立大学 渋谷研究室

日時：7月30日（木）①10:00～11:30 ②13:30～15:00

場所：ふくやま美術館2階 工芸・版画室

講師：渋谷清（画家、福山市立大学教育学部教授）

参加費：1,500円／1組

定員：各回12組（1組2名から3名まで）※応募者多数の場合は抽選

対象：小学生以上（同一世帯のご家族）

申込方法：往復はがきまたは当館ホームページ申込フォームに「郵便番号・住所」、「電話番号」、「メールアドレス」、「希望の時間帯」を記入し、ご応募ください。※1通につき1組

往復はがきでの申込先：720-0067 福山市西町二丁目4番3号 ふくやま美術館「ゆらゆらオバケ」係

ウェブからの申込は[こちら](#)から ※5月21日(木)より受付開始

応募締切：7月10日（金）必着

課題

- ・ 持続可能な体制

⇒担当者変更時でも持続可能な連携体制づくり（大学・美術館）

- ・ 予算における位置づけ

⇒予算組みにおける教育普及活動の位置づけ（美術館）

引用参考文献・謝辞

片口直樹「大学と美術館の協働による文化事業－『子どものためのワークショップ2022夏』の実践－」，令和4年度茨城大学地域研究・地域連携プロジェクト活動報告書，2023,PP20-23

林 洋子『藤田嗣治 作品をひらく』名古屋大学出版会，2008

シルヴィー・ビューッソン『藤田嗣治 7つの情熱』求龍堂，2025

府中市美術館『フジタからはじまる猫の絵画史』筑摩書房，2025

謝辞

本研究を進めるにあたり、ワークショップ会場へご来館いただいた多くの方々はじめ、聞き取りにご協力いただいた美術館及び美術関係者の方々に心よりお礼申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。